

- | | |
|-----|--|
| 問1 | 平治の乱で勝利し、武士として初めて太政大臣に任命された人物は誰？ |
| 問2 | 平安時代初期に唐から天台宗を伝え、比叡山に延暦寺を開いた人物は誰？ |
| 問3 | 中国で長く繁栄した王朝である唐が滅亡したのは何年？ |
| 問4 | 国風文化のなかで、漢字を簡略化して作られた文字を何という？ |
| 問5 | 平泉の奥州藤原氏が、極楽浄土を表現するために建立した金箔の仏堂を何という？ |
| 問6 | 1156年に朝廷内の権力争いから起きた保元の乱で、平清盛らの支持を受けて勝利した天皇は誰？ |
| 問7 | 平安時代後期に藤原氏の栄華の象徴として平等院鳳凰堂を建立した、当時の政治の実権を握っていた人物は誰？ |
| 問8 | 上皇が権力を強めるため、自らの警護や武力行使のために雇った地方の武士団を何という？ |
| 問9 | 1086年に天皇の位を譲った後、上皇として御所外から政治の実権を握った人物は誰？ |
| 問10 | 平安時代後期に院政を最初に始めた上皇は誰？ |
| 問11 | 『源氏物語』を書き、平安時代の国風文化を代表する女性作家は誰？ |
| 問12 | 平安時代初期に最澄が天台宗の総本山として延暦寺を建立した場所はどこ？ |
| 問13 | 平等院鳳凰堂などの建築に影響を与えた、阿弥陀仏にすぎる信仰を何という？ |
| 問14 | 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？ |
| 問15 | 平安時代中期に『枕草子』を著し、宮廷生活の機微を描いた人物は誰？ |
| 問16 | 平安時代初期、朝廷の支配が及びにくかった日本の北東部地域を何という？ |
| 問17 | 天台宗において、あらゆる人が救われるという教えの中心となっている経典を何という？ |
| 問18 | 院政を行うために、天皇の住む御所の外に設けられた上皇の執務機関を何という？ |
| 問19 | 平安時代に瀬戸内海地方で海賊を率いて反乱を起こした人物は誰？ |
| 問20 | 平安時代に唐から帰国し、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧は誰？ |
| 問21 | 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の後は誰？ |
| 問22 | 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変われることを願う考え方を何という？ |
| 問23 | 空海が高野山に建立した、真言宗の総本山として知られる寺院は何？ |
| 問24 | 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 平清盛	平清盛は、平治の乱で源義朝を破って政権を握りました。武士として初めて太政大臣に任命され、一族の繁栄を築き上げました。また、日宋貿易を積極的にに行い、経済的基盤も強化しました。
問2	答え 最澄	最澄は唐へ渡り、天台宗を学んで帰国しました。比叡山に延暦寺を建立し、厳しい修行を通じて多くの高僧を育てました。また、大乗仏教の戒律を授けるための「大乗戒壇」の建立を目指しました。
問3	答え 907年	907年、唐は朱全忠によって滅ぼされました。これにより中国は「五代十国」と呼ばれる分裂の時代へと突入しました。
問4	答え 仮名文字	仮名文字は、漢字の形をくずしたり、その一部を抜き出したりして作られた文字です。これにより、貴族たちは自分の感情を素直に表現できるようになり、和歌や物語の創作が盛んになりました。国風文化の発展を支えた最大の要因といえます。
問5	答え 中尊寺金色堂	中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った非常に豪華な造りです。奥州藤原氏の財力を象徴するだけでなく、戦乱の絶えない現世を離れ、平和な極楽浄土を地上に再現しようという願いが込められています。
問6	答え 後白河天皇	1156年の保元の乱で、後白河天皇は平清盛や源義朝の力を借りて勝利を収めました。これにより、院政を行う立場として権力を掌握しました。
問7	答え 藤原頼通	藤原頼通は、摂政・関白として約50年間政治の実権を握りました。当時、貴族たちの間では自分の財力や権力を誇示しつつ、極楽浄土に往生したいという切実な願いがありました。頼通はそれに応えるように、京都の宇治の地に壮大な平等院鳳凰堂を建立し、阿彌陀如来像を安置させました。
問8	答え 北面の武士	白河上皇が御所の北側に部屋を設けて警護させたことから「北面の武士」と呼ばれます。彼らは単なる警備員ではなく、実力行使の手段として上皇の信頼を受け、次第に政治的な発言力を持つようになりました。
問9	答え 白河上皇	白河上皇は1086年に天皇の位を子に譲り、自らは上皇となって政治を執り行いました。これを「院政」といいます。これにより、摂関家ではなく天皇や上皇が権力の中心となりました。
問10	答え 白河上皇	白河上皇は1086年に院政を開始しました。上皇は自分の屋敷である「院」に院庁という機関を設け、天皇に代わって国の重要事項を決定しました。これにより、有力な貴族ではなく上皇が政治の主導権を握るようになりました。
問11	答え 紫式部	紫式部は、藤原道長の娘に仕えながら、『源氏物語』を執筆しました。この物語は、主人公である光源氏の栄華と没落を通して、人間の心理や当時の貴族社会を克明に描き出しました。
問12	答え 比叡山	比叡山は平安京（京都）の鬼門の方角にあり、都の守護を担うという意味も持っていました。ここに開かれた延暦寺には多くの僧侶が集まり、仏教の研鑽を積む拠点となりました。
問13	答え 浄土信仰	浄土信仰は、「南無阿彌陀仏」と唱えることで、死後に阿彌陀如来のいる極楽浄土へ生まれ変わることができるという教えです。貴族たちの間で広まり、平等院鳳凰堂のような豪華な阿彌陀堂が建立されるきっかけとなりました。
問14	答え 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重ねる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問15	答え 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕えた女房です。彼女の代表作『枕草子』は、「春はあけぼの」という有名な書き出しで始まる随筆です。宮廷生活の中での出来事や、自然の美しさに対する鋭い観察眼と、彼女自身の機知に富んだ考え方がユーモアを交えてつづられています。当時の貴族社会の価値観や美的センスを知るための極めて重要な資料です。
問16	答え 東北地方	東北地方には、朝廷の支配に従わない人々が生活しており、朝廷側は彼らを「蝦夷」と呼んで服属させようとしていました。朝廷は多賀城などの拠点を作り、軍事的に征討を試みしました。
問17	答え 法華経	法華経は、天台宗が最も重視する経典で、「すべての人は平等に救われ、仏になることができる」という教えを説いています。最澄はこの経典に基づき、人々に正しい修行と理解を求めました。この包摂的な教えは、特定の僧侶だけでなく、多くの人々に仏教の門戸を開く役割を果たしました。
問18	答え 院庁	院庁は、院政における実務的な行政機関であり、上皇の意志を国家政策として実行する役割を持ちました。ここで出される命令は「院宣」と呼ばれ、強い権力を持っていました。組織として整備されることで、摂関政治とは異なる独自の政治体制が確立されました。
問19	答え 藤原純友	藤原純友は、瀬戸内海を拠点とする海賊のリーダーとして勢力を持ち、朝廷に対して反旗をひるがえしました。同時期に関東で平将門が起こした乱と合わせて「承平・天慶の乱」と総称されます。海と陸の二大拠点で同時に反乱が起きたことは、朝廷の地方支配の弱体化を如実に示しました。
問20	答え 最澄	最澄は、唐に渡って天台の教えを学び、日本に帰国して比叡山に延暦寺を建立しました。彼は「すべての人が救われる」という平等を説き、厳しい修行を重視する天台宗を開きました。また、比叡山には多くの優れた僧が集まり、後の日本仏教界に多大な影響を与えました。
問21	答え 中宮定子	中宮定子は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。彼女に仕えた清少納言は、その優雅な振る舞いやサロン様子を『枕草子』の中に書き残しました。定子は、平安貴族の優雅な生活を象徴する存在の一人です。
問22	答え 浄土信仰	浄土信仰は、阿彌陀仏を信じ、その名（南無阿彌陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行くことができるという教えです。当時の貴族たちは、自分の館や寺院の建物に阿彌陀仏を安置し、豪華な飾りつけをすることで、現世に極楽浄土を再現しようとしていました。平等院鳳凰堂はその代表例です。
問23	答え 金剛峯寺	金剛峯寺は、高野山にある真言宗の拠点となる寺院です。空海は嵯峨天皇からこの土地を下賜され、修行道場を築きました。広大な敷地には多くの寺院が立ち並び、宗教都市としての役割も果たしました。金剛峯寺は、真言宗の教えを広める中心地として、また信者たちが祈りを捧げる聖地として長年大切にされてきました。
問24	答え 遣唐使の廃止	894年、朝廷で活躍した菅原道真の建議により、遣唐使の派遣は停止されました。この決定により、それまで唐から学んでいた制度や文化の影響が弱まり、日本独自の「国風文化」が発展する契機となりました。